

(1) 実施機関名：

気象庁

(2) 研究課題(または観測項目)名：

火山噴火シナリオの作成

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(2) 地震・火山現象に関する予測システムの構築

(2-2) 火山噴火予測システム

ア. 噴火シナリオの作成

(4) その他関連する建議の項目：

2. 地震・火山現象解明のための観測研究の推進

(3) 地震発生先行・破壊過程と火山噴火過程

(3-3) 火山噴火過程

イ. 噴火の推移と多様性の把握

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

各機関における噴火履歴，過去の噴火様式，マグマ組成の時間変化などの研究成果を参考にして，噴火警戒レベルの導入や噴火警報等発表時の防災対策を検討するための噴火シナリオの作成を進める．

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

国土交通省が進める火山噴火緊急減災対策計画等と連携し，火山防災マップの作成とあわせて噴火シナリオの作成を進める．なお，作成した噴火シナリオ等は地方公共団体等における避難計画の検討に採用され，準備の整ったところから噴火警戒レベルの導入を進める．

さらに，新たな研究成果が得られた場合には，それらを取り入れて，噴火シナリオの高度化を図る．

(7) 平成 24 年度成果の概要：

平成 27 年度までに噴火警戒レベル(以下「レベル」)運用開始を予定している 10 火山(アトサヌブリ，倶多楽，恵山，秋田焼山，岩木山，鳥海山，蔵王山，白山，青ヶ島，鶴見岳・伽藍岳)のうち，6 火山(倶多楽，恵山，秋田焼山，白山，青ヶ島，鶴見岳・伽藍岳)について噴火シナリオ(以下「シナリオ」)の作成作業を進め，いずれもシナリオの素案が完成した．このうち 3 火山(恵山，秋田焼山，青ヶ島)については，火山専門家への照会を経た後，地元関係機関へのシナリオ素案の説明を開始した．残る 3 火山(倶多楽，白山，鶴見岳・伽藍岳)のシナリオ素案については火山専門家に照会中あるいは近く照会予定である．

また，アトサヌブリ，岩木山，鳥海山，蔵王山についても，平成 27 年度までのレベル運用開始を目指してシナリオ作成作業に着手した．その他，日光白根山についてもシナリオ作成作業を開始した．

吾妻山(平成 19 年 12 月にレベル運用開始済み)については，火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会での検討結果を受けて既存のシナリオの見直し作業を行った．

(8) 平成 24 年度の成果に関連の深いもので、平成 24 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等) :

(9) 平成 25 年度実施計画の概要 :

平成 27 年度までにレベル運用開始を予定している 10 火山のうち、白山については平成 24 年度中、青ヶ島については平成 25 年度中に、関係機関によって構成される火山防災協議会(以下「協議会」) が設置される見通しである。また、日光白根山についても平成 25 年度中に協議会設置の見通しである。他の 7 火山については、引き続き協議会の設置を関係自治体に働きかける。協議会設置後、そこでの検討結果を受けて各火山のシナリオを修正し、地元関係機関とレベル運用開始に向けた行程について合意を得た上で、レベル運用開始に向けて作業を進める。

アトサヌプリ、岩木山、鳥海山、蔵王山について、引き続きシナリオの作成を進めるとともに、協議会の設置を関係自治体に働きかける。

磐梯山(平成 21 年 3 月にレベル運用開始済み)については、火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会において既存のシナリオの見直しを検討予定である。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

気象庁地震火山部・札幌管区气象台・仙台管区气象台・福岡管区气象台火山監視・情報センター
他機関との共同研究の有無：有
国土交通省砂防部局，関係大学等

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：地震火山部管理課 地震調査連絡係長

電話：03-3212-8341 (内線：4514)

e-mail：jmajishin_kanrika@met.kishou.go.jp

URL：http://www.jma.go.jp

(12) この研究課題(または観測項目) の連絡担当者

氏名：藤原善明

所属：気象庁地震火山部火山課